# 引戸用レールセット

## **取付説明書** - H1S,H1W -

- ●このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- ●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等への危害や損害を 未然に防止するためのものです。

表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

#### 安全に関する記号 記号の意味

♠ 警告

●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠注意

●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

#### 一般情報に関する記号

## アポイント

- ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生する おそれのある内容を示しています。

**※** 

- ●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

② 補足

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

#### <施工の前に>

## ⚠ 注意

- ●正しく施工、組付けをするために、施工を行なう前に必ず取付説明書をお読みください。
- ●電動タイプで使用する「呼び16フレキチューブ」は現場で別途手配してください。
- ●基礎コンクリート深さが250mmと異なる場合は別途現場手配で、M8寸切りボルト等をご用意ください。
- ●ご使用になる場所に合わせて基礎寸法を算定してください。本取付説明書に記載している基礎寸法は、長期地耐力100KN/㎡、 風速33m/s(※)相当の地域を想定した参考寸法です。
  - ※建築基準法施行令第87条に規定される、Voに準じた風速。
- 製品の施工については、必ず各製品の取付説明書に従ってください。
- ●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上のご注意>

## ⚠注意

- ●引戸走行床面は水平に仕上げてください。
- ●電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
- ●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
- ●コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## ■梱包明細表

#### 【1】レールセット

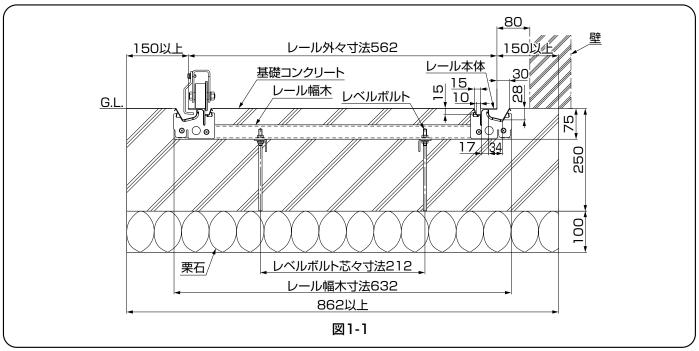
名 称	略図		員数		
1 10		セット①	セット②	セット③	
レール本体		2	2	2	
レール幅木		1	1	2	
レベルボルト M8×200		2	2	4	
【1-1】M8六角ナット	9	4	4	8	
【1-2】M8平座金	<b>©</b>	4	4	8	
【1-3】M6×16ナベ小ネジ	()))))))	4	4	8	

#### 【2】端部幅木セット

名 称	略図	員数
レール幅木		1
レベルボルト M8×200		2
【2-1】M8六角ナット	<b>(2)</b>	4
【2-2】M8平座金	<b>©</b>	4
【2-3】M6×16ナベ小ネジ	$\bigoplus$	4
取付説明書	_	1

## 1. レールの納まり(断面)

※基礎寸法は参考値です。

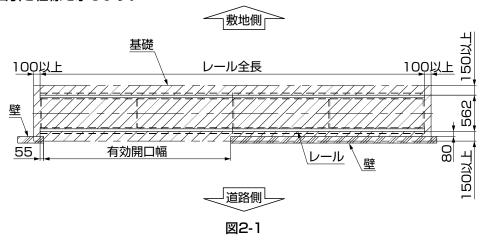




## 2. レールの納まり(施工例)

#### 2-1 H1S、H1W(片引き)

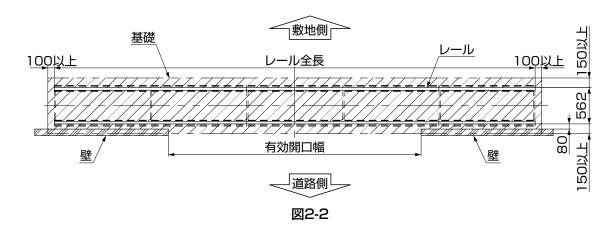
※図は右引き仕様を示します。



#### **₽**ポイント

- ●引き始め側の壁端部より55mm外側の位置からレールを配置します。
- ●壁とレールの隙間は80mmとしてください。
- ●レール端部に水切り用の排水溝を設けてください。

## 2-2 H1S、H1W(両引き)



## **ぬ**ポイント

- ●有効開口幅の中央を基準にレール全長を左右均等長さになるようにレールを配置してください。
- ●壁とレールの隙間は80mmとしてください。
- ●レール端部に水切り用の排水溝を設けてください。

D447\_200703A

## 3. レールの組立て

#### 3-1 レール幅木の取付け

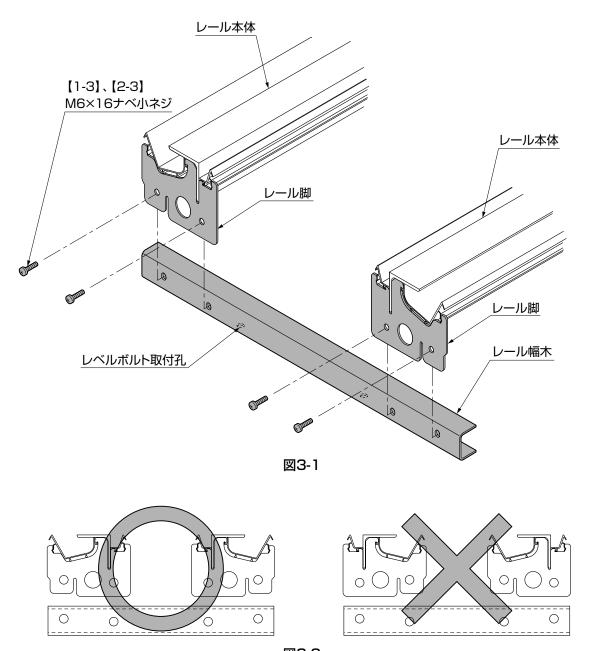


図3-2

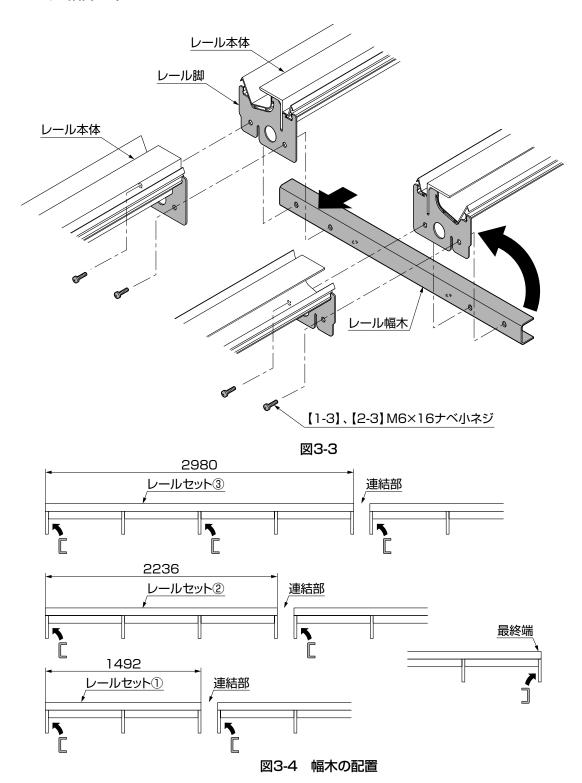
①レール本体のレール脚部分に【1-3】(【2-3】) でレール幅木を取付けてください。レール幅木はレベルボルト取付 孔が下向きになるように取付けます。(図3-1参照)

## アポイント

●レール本体とレール幅木は正しい向きでないと取付けることができません。組付かない場合は、図をよく確認してレール本体とレール幅木を正しい位置に置いてください。(図3-2参照)



#### 3-2 レール連結部の組立て



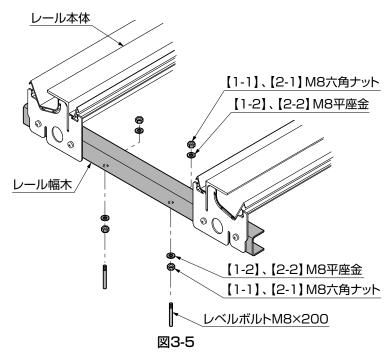
①レール本体端部のレール脚部分を図のように合わせてレール幅木に【1-3】(【2-3】) でレール供絞めしてください。

### *②* 補足

●レール幅木の本数は各レール脚の数より少なくなっています。図3-4を参考にレール幅木を取付けてください。

## 3. (つづき)

#### 3-3 レベルボルトの取付け

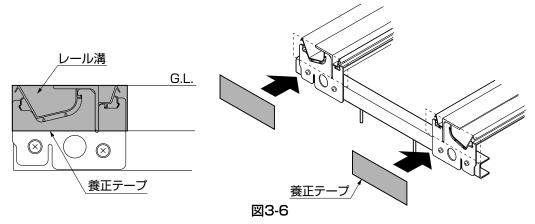


①レール幅木にレベルボルトM8×200を【1-1】(【2-1】)、【1-2】(【2-2】)で取付けてください。

#### / 補足

- ●レベルボルトM8×200は基準寸法から-6mm~+15mmの範囲で調整できます。(「1.レールの納まり(断面)」 の図1-1参照)
- ●基礎コンクリート深さが250mmと異なる場合は別途現場手配にてM8寸切りボルト等をご用意ください。

#### 3-4 レール端部のコンクリートよけ処理



①コンクリート打設時にレール溝にコンクリートが流込まないように、レール端部に養正テープ等でマスキングを行なってください。

#### アポイント

- ●マスキングをする養正テープ等は別途現場手配してください。
- ●コンクリートよけ処理をしないと、レール溝にコンクリートが流入してしまい引戸がレール上を走行できなくなります。



## 4. 施工と納まり

※コンクリート埋設前に寸法確認を必ず行なってください。

#### 4-1 H1S、H1W型納まり

### (1) H1S (片引き)

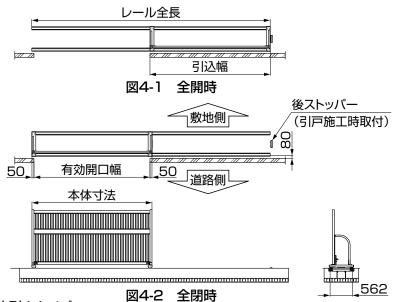


表4-1 H1S片引きタイプ

2					
	有効開口幅	本体寸法	引込幅	レール全長	レール組合わせ
H1S 20	1900	2000	2008	4472	1)+3)
H1S 25	2400	2500	2508	5216	2+3
H1S 30	2900	3000	3008	5960	3×2
H1S 35	3400	3500	3508	7452	①+③×2
H1S 40	3900	4000	4008	8196	2+3×2

#### (2) H1S(両引き)

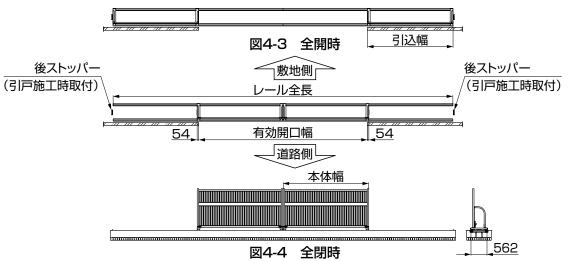


表4-2 H1S両引きタイプ

	有効開口幅	本体寸法	引込幅	レール全長	レール組合わせ
H1S 20-20	3917	2000	2008	8196	②+3×2
H1S 25-25	4917	2500	2508	10432	①+③×3
H1S 30-30	5917	3000	3008	11920	3×4
H1S 35-35	6917	3500	3508	14156	2+3×4
H1S 40-40	8917	4000	4008	16392	①+③×5

D447\_200703A

## 4. (つづき)

## (3) H1W(片引き)

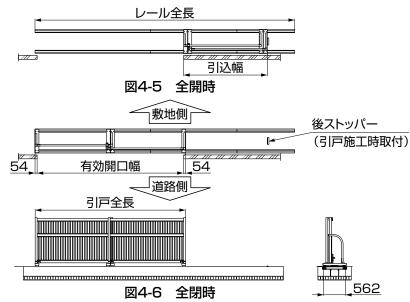


表4-3 H1W片引きタイプ

	有効開口幅	本体寸法	引込幅	レール全長	レール組合わせ
H1S(20-20)	3785	3885	2160	6708	1+2+3
H1S(20-25)	4285	4385	2660	7452	①+3×2
H1S(25-25)	4785	4885	2660	8196	2+3×2
H1S(25-30)	5285	5285	3160	8940	3×3
H1S(30-30)	5785	5785	3160	9688	①+②+③×2

### (4) H1W(両引き)

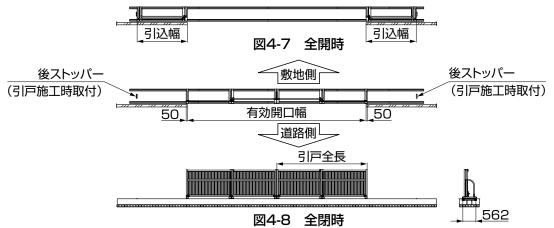


表4-4 H1W両引きタイプ

	有効開口幅	本体寸法	引込幅	レール全長	レール組合わせ
H1S 20-20	7695	3885	2160	12668	①+②+③×3
H1S 25-25	8695	4385	2660	14156	2+3×4
H1S 30-30	9695	4885	2660	15648	1)+2+3×4
H1S 35-35	10695	5285	3160	17136	2+3×5
H1S 40-40	11695	5785	3160	18628	①+②+③×5



取説コード **D443** XXX013298 200703A\_1006